



「鶴ヶ島市のこれからの教育」について

もちだ やすあき
持田 靖明 議員



学校・家庭・地域が目標を共有し ともに作り上げていきたい

問 GIGAスクール構想によって何が変わるのか。

答 本市が推進している学び合い学習の中でタブレットを有効に活用していく。これからの時代は、基礎的な知識や技能だけではなく、学びに向かう力や人間性も含めた学力の育成が求められている。

問 生徒数の減少に伴う今後の部活動の在り方について。

答 今後も合同部活動制度や部活動指導員制度を有効に活用する。部活動指導員には、部活動の位置付けや教育的意義について研修を行い、各学校の指導の下で適正に部活動を運営していただくことになる。

問 小中一貫教育の現状と成果について。

答 南小学校・南中学校では、9年間を見据えて早い段階から学び合い学習の研究に取り組んでいる。また、先進的な具体例を市内で共有し、小中一貫教育のより一層の充実を図っている。

問 「社会に開かれた教育課程」とは。

答 学校応援団や学校運営協議会の設置により、学校・家庭・地域が協力して子どもを育てていけるように努める。親や教職員以外の地域の様々な方と触れ合う経験は重要である。



児童・生徒の体力向上について

おおそねひであき
大曾根英明 議員



全ての教育活動を通して 体力向上を推進する

問 児童・生徒の体力、運動能力の現状について。

答 埼玉県教育委員会では、体力テストの上位3段階の割合の目標値を小学校で80割、中学校で85割と定めており、本市の過去3年間の達成率の平均は、小学校で83・1割、中学校で81・8割であった。

問 指導基準、運動環境について。

答 学校の体育授業は、学習指導要領の目標と内容に基づいて行なっている。

この度の学習指導要領の改訂で重要視されていることは、生涯にわたって豊かなスポーツライフを実現する基礎を培うこと



であり、新体力テストなどの考察や改善のポイントを押さえた授業の充実に努めている。

問 今後の方向性について。

答 第6次鶴ヶ島市総合計画で掲げたとおり、生涯にわたり健康で豊かな生活を送ることができるよう、健やかな体の育成を目指す。そのために、全ての児童・生徒が、できた、分かった、もっとやりたいという喜びを味わい、進んで運動する授業のほか、全ての教育活動を通じて体力向上を推進する。

◎**その他の質問** 主権者教育について